

令和 4 年度 東住吉区運営方針（素案）

（様式1）

（区長：塩屋 幸男）

区の目標(何をめざすのか)

子どもが輝き、みんながしあわせなまち

区の使命(どのような役割を担うのか)

区民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現を基本に、「みんなで子どもを育てるまち」「みんなが健康で安心して暮らせるまち」「みんながつながるまち」に取り組む。

令和 4 年度 区運営の基本的な考え方(区の方針)

- ・「子どもたちのゆめを広げる」「子育てのまち・教育のまちにする」「みんな健康で元気になる」「不安ゼロのまちにする」「互いの顔を知っているまちにする」「困ったときはお互い様のまちにする」という 6 つの視点に基づく施策を推進する。
- ・「都心にほど近い、便利な暮らし」「穏やかで地に足ついた、ゆとりある暮らし」「農とスポーツのある、健康的な暮らし」「長居公園のある暮らし」という 4 つのめざす暮らしのあり方の実現のため、大学や企業等と連携した取組を実施する。
- ・区民の区政への関心を高め、区政に区民の意見を反映する。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意しながら、市民サービスの維持向上に取り組む。

重点的に取り組む主な経営課題(様式 2)

経営課題1 みんなで子どもを育てるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
子育てや教育に様々な人や団体等が関わることで、子育て教育環境が良い、みんなで子どもを育てるまちにする。	【1－1】子育て支援 【1－2】教育支援
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【1－1－1】子育て家庭への支援(24,554千円) ・東住吉区子育て支援連絡会との協働による子育て施策の展開及び情報提供	【1－2－1】ニーズに応じた学校への支援(9,684千円) ・障がい児童支援員によるサポート、民間講師や魅力ある学校づくり応援団制度の活用等による学校への支援を実施

経営課題2 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
健康づくり・防災・防犯に様々な対策がとられ、区民の意識が高く、みんなが健康で安心して暮らせるまちにする。	【2－1】健康に暮らせるまちづくりの推進 【2－2】安心して暮らせるまちづくりの推進
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【2－1－2】福祉相談ネットワークの強化(50,653千円) ・区内14地域の「地域相談窓口」に地域福祉サポーターを配置し、相談対応を実施	【2－2－1】防災力の強化(4,913千円) ・地域の自主的、自律的な防災訓練の支援等を実施し、自主防災組織の機能強化を図る。

経営課題3 みんながつながるまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
区民相互が交流と助け合いを行い、地域の自主的なまちづくり活動が活発に行われている、みんながつながるまちにする。	【3－1】区民相互のつながりづくりへの支援 【3－2】地域活動協議会による自律的な地域運営の促進
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【3－1－1】区民相互の交流活動への支援(10,613千円) ・様々な地域団体や企業等の参画のもと地域ニーズに対応した手法で事業を実施し、区民相互の交流活動をサポート	【3－2－1】地域の自主的なまちづくり活動への支援(43,302千円) ・地域の実情やニーズに合わせた広報等の実施や地域の担い手の知識・技術の習得・向上の促進策をはじめとする地活協への支援

経営課題4 区民と共に創るまちづくり

経営課題の概要	主な戦略
区民の区政への関心が高く、区民の意見を反映した区政運営がされるまちにする。	【4－1】区政情報の広報 【4－2】区民の意見を反映した区政運営の実現
主な具体的取組(4年度算定見込額)	
【4－1－1】広報媒体と内容の充実(26,187千円) ・広報紙やホームページと公式 SNS を連携させ、相互の情報をクロスメディア手法により効果的に発信	【4－2－2】区民等の参画と協働(3,088千円) ・区政会議をはじめとした区民等の参画と協働による区政運営

「市政改革プラン3.0」に基づく取組等(様式3)

主な取組項目	取組内容
【取組項目1】 国民健康保険料の収納率向上 (改革の柱 3 - 3 (4))	・ 現年度滞納者を中心に納付督促及び財産調査を実施 ・ 差押予告の送付、滞納処分の強化 ・ 新規加入者への保険証交付時に口座振替勧奨
【取組項目2】 次代を担う職員の育成 (改革の柱 5 - 1)	・ 「東住吉区おもてなしプロジェクト」を継続実施し、各課を横断した全職員の意識向上の取組を推進 ・ 職員の対応力向上に向けたスキルアップ研修の実施
【取組項目3】 働きやすい職場環境づくり (改革の柱 6 - 1)	・ ワーク・ライフ・バランス推進期間の設定及び超過勤務の縮減(ノー残業デーの追加など) ・ ワーク・ライフ・バランス推進委員会を通じた育児・介護・病気の治療と仕事の両立にかかる各種制度の周知徹底及び啓発

◆自己評価

1 年間の取組成果と今後取り組みたいこと

解決すべき課題と今後の改善方向



経営課題 1 みんなで子どもを育てるまちづくり

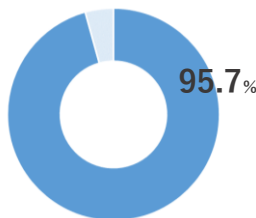
めざすべき将来像(最終的なめざす状態)＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

子育てや教育に様々な人や団体等が関わることで、子育て教育環境が良い、みんなで子どもを育てるまち

子育て支援

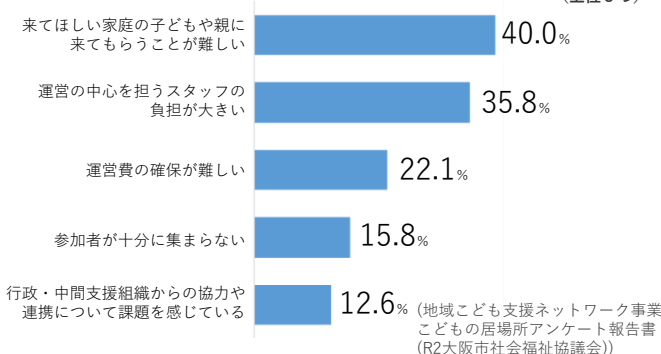
現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

子育てについて相談する人(場所)がいる(ある)と感じる区民



(令和2年度子育て世帯向け区民アンケート)

「子どもの居場所活動」に取り組んでいる団体が運営にあたり感じている課題(上位5つ)



要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【子育て家庭への支援】

- 子育てに不安や負担を感じている人が気軽に周囲に相談できず、地域で孤立する傾向にある。

【子どもの居場所づくり】

- 子どもの居場所を運営または開設を検討している地域の団体等は、活動内容によって異なる様々な課題を抱えている。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【子育て家庭への支援】

- 子育てに不安や負担を感じている人が孤立しないように、関係機関等と連携し、状況に応じた適切な支援・相談・情報提供等を行う必要がある。

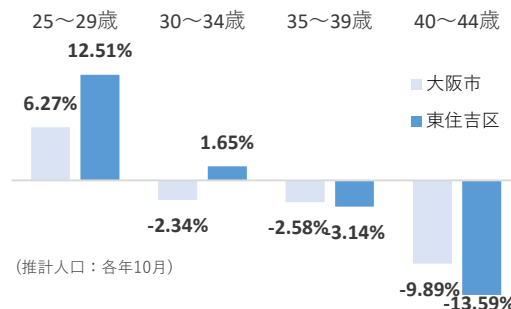
【子どもの居場所づくり】

- 運営または開設を検討している地域の団体等に対し必要なサポートを行うことで、居場所の充実と実施箇所数増を図る必要がある。

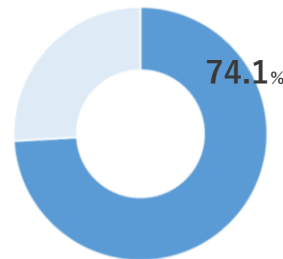
教育支援

現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

人口増減(H28→R2)



将来の夢や目標を持っている子ども



(子どもの生活に関する実態調査(H28))

要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【ニーズに応じた学校への支援】

- 子育て世帯にとって魅力ある資源が十分に活用されていない。

【子どもの学習・体験機会の充実】

- 子育て世帯が住み続けたいと思える、まちの魅力の発信が不足している。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【ニーズに応じた学校への支援】

- 学校との連携を深め学校運営に地域の実情を一層反映させていくなど、地域や区が持つ教育資源を活用した取組が必要である。

【子どもの学習・体験機会の充実】

- 子育て世帯に関心の高い分野において、子どもに学習や体験ができる機会を提供し、区の魅力として積極的に発信する必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 1－1

【子育て支援】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
安心して子育てができる状態
戦略<中期的な取組の方向性>
区内の子育て支援関係機関等と協働して、同世代や異世代間の交流を支援し、子育てにかかる情報提供が子育て世帯に行き届くようにする。 子育てのしづらさや発達障がい(疑い)がある親子を早期発見し、早期に療育が受け入れられる体制を、地域の関係機関や事業所と連携しながら引き続きとるなど、状況に応じた適切な支援・相談・情報提供を行い、子育てに対し不安や負担の軽減を図る。

具体的取組 1－1－1	子育て家庭への支援
2決算額 18,601千円 3予算額 24,329千円 4算定見込額 24,554千円	
当年度の取組内容	
東住吉区子育て支援連絡会との協働による地域との交流事業を年度内に4回程度実施し子育て情報の提供を行う 子育て支援コーディネーターによる未就学児訪問と虐待を予防する機運を高めるため啓発活動の開催 4名の家庭児童相談員による養育者への相談体制の充実 親子サロンを利用した地域妊産婦教室	
プロセス(過程)指標<取組によりめざす指標>	
①地域との交流事業に満足した参加者：80%以上 ②親子サロンが交流の場となっていると感じる参加者(保護者)：60%以上	
【撤退・再構築基準】 ①50%未満かつ②40%未満	
当年度の取組実績	

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			
(令和3年度)			
東住吉区子育てOHえんフェスタ・赤ちゃんコンサートの開催。子育てファミリー運動会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止 子育てOHえん情報誌の配架約170か所(主要8駅含む)毎月約2,500部			

アウトカム(成果)指標 ＜めざす状態を数値化した指標＞		前年度	今年度	個別 評価	全体 評価
子育てについて相談する人(場所)がいる(ある)区民： 令和7年度末時点で90%以上					
戦略の進捗状況					
戦略のアウトカム 指標に対する有効性	課題				
	今後の対応方向				

具体的取組 1－1－2	子どもの居場所づくり
2決算額 3,166千円 3予算額 3,519千円 4算定見込額 60千円	
当年度の取組内容	
子どもの居場所の運営者間の連絡会議や情報交換・交流といったネットワークを継続・発展させ、子どもの居場所の必要性や効果について積極的な広報や啓発を行う。 地域において子どもを見守り、支援を行うために、より早期に実態を把握、区役所・子どもの居場所・学校等が連携し、必要なサービスにつなぐことができる環境づくりを行う。	
プロセス(過程)指標<取組によりめざす指標>	
「新たにつながりができた」または「相互情報交換の場ができた」と感じる子どもの居場所活動の運営者・支援者：60%以上	
【撤退・再構築基準】 30%未満	
当年度の取組実績	

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			
(令和3年度)			
居場所運営者・関係機関の連絡会議を開催(2回) 区役所内プロジェクトチーム会議を開催(2回) 居場所運営団体に対する支援情報や参考資料等の提供 居場所の広報及び意義の啓発にかかる講演会等の開催			

めざす成果及び戦略 1－2

【教育支援】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
区役所やボランティア、地域資源による児童生徒の教育支援体制が整っている状態
戦略<中期的な取組の方向性>
・発達障がい等のある児童生徒の行動面への支援や基礎学力の向上など各学校の課題に応じた教育活動を支援する。 ・地域資源(大学・商店街・企業等)と連携しながら、子育て世帯に関心の高い分野において、子どもに学習や体験ができる機会を提供する。

具体的取組 1－2－1		ニーズに応じた学校への支援			
2決算額	7,496千円	3予算額	9,545千円	4算定見込額	9,684千円
当年度の取組内容					

- ・各学校と連携し、子どもや保護者にとって魅力ある学校づくりに向けた取組など(学校選択制等)をサポート、発信する。
- ・障がい児童支援員が、学校を通じて、発達障がい児やその保護者等に対するサポートを実施する。
- ・民間講師等を活用した学習支援、魅力ある学校づくり応援団制度を活用した学校支援等を実施する。

プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>
サポーターや民間講師等を活用した学習支援等により子どもの学習支援に繋がったと感じる学校：60%以上 【撤退・再構築基準】 30%未満
当年度の取組実績

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

- (令和3年度)
- ・学校選択制にかかる学校案内の作成・配付
- ・障がい児童支援員が小中学校の特別支援学級に訪問・助言・研修(随時)
- ・民間講師等を活用した学習支援やサポーターの配置
- ・魅力ある学校づくり応援団制度の創設

アウトカム(成果)指標 <めざす状態を数値化した指標>	前年度	今年度	個別評価	全体評価
学校支援の取組が小中学校の教育内容充実につながっていると思う区民：令和7年度末までに70%以上				
戦略の進捗状況				
戦略のアウトカム指標に対する有効性	課題			
	今後の対応方向			

具体的取組 1－2－2		子どもの学習・体験機会の充実			
2決算額	494千円	3予算額	1,975千円	4算定見込額	1,975千円
当年度の取組内容					

- ・子どもたちにさまざまな学習や体験ができる機会を提供し、能力の育成・伸長を図る。

プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>
参加者満足度：70%以上 【撤退・再構築基準】 50%以下
当年度の取組実績

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

- (令和3年度)
- ・民間講師等を活用した夏期・冬期集中学習会の実施
- ・子どもの学習・体験機会の充実（芸術文化）事業の実施



経営課題 2 みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり

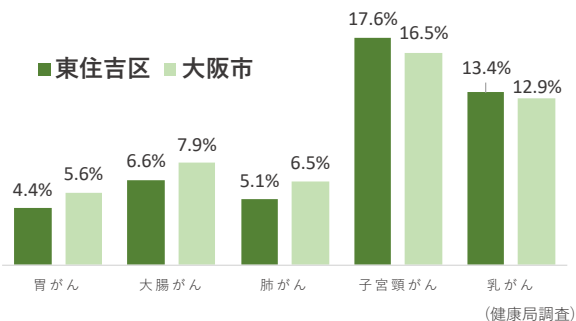
めざすべき将来像(最終的なめざす状態)＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

健康づくり・防災・防犯に様々な対策がとられ、区民の意識が高く、みんなが健康で安心して暮らせるまち

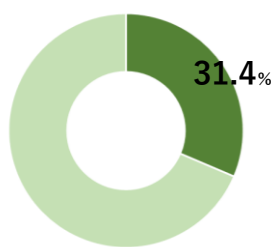
健康に暮らせるまちづくりの推進

現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

がん検診受診率(令和元年度)



福祉・介護等の相談先に満足している区民



要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【健康づくり】

- がん検診の受診率が全市平均より下回っている状況が、がんの死亡率が高い要因の1つと考えられる。

【福祉相談ネットワークの強化】

- 地域とのつながりが少なく、支援を必要としながら適切な支援につなげていない人が多い。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【健康づくり】

- 特定健康診査やがん検診の受診率向上を図り、区民自ら健康の保持増進に努めるよう意識を向上させる必要がある。

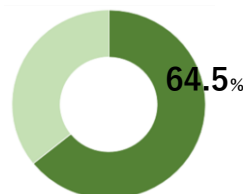
【福祉相談ネットワークの強化】

- 身近なところで気兼ねなく相談でき、必要な支援に的確につながるしくみを確立していくことが必要である。

安心して暮らせるまちづくりの推進

現状 ＜課題設定の根拠となる現状・データ＞

自助、共助ともに理解している区民



地域防災リーダー

平均年齢	64.7歳
女性割合	20.0%

(令和3年4月現在)

東住吉区内における主な街頭犯罪及び特殊詐欺発生件数

	ひったくり	路上強盗	自動車盗	車上ねらい	部品ねらい	オートバイ盗	自転車盗	特殊詐欺
H30	14	2	34	221	105	36	412	25
R元	7	3	16	128	61	28	435	31
R2	5	0	11	138	79	26	301	15

(大阪市の犯罪発生状況)

要因分析＜めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果＞

【防災力の強化】

- 自助、共助の考えや意識が十分に浸透しておらず、また、地域防災活動の担い手が高齢化し、女性の参画も十分とはいえない。

【防犯力の強化】

- ひったくり被害件数は減少しているものの、車関連犯罪（車上ねらい、部品ねらい）は増加傾向である。

課題＜上記要因を解消するために必要なこと＞

【防災力の強化】

- 自らの力で防災・減災に繋がる行動ができるよう、全区民の防災・減災に対する意識の向上に取り組むとともに、地域の力で防災・減災に繋がる行動ができるよう、自主防災組織の機能強化を図る必要がある。

【防犯力の強化】

- 区民の防犯への関心を高めるとともに、犯罪抑止のため、警察署、地域と連携し継続的に取り組む必要がある。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

めざす成果及び戦略 2－1 【健康に暮らせるまちづくりの推進】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
区民が健康づくりに取り組み、福祉相談につながる状態
戦略<中期的な取組の方向性>
区民の主体的な活動と行政、企業等が協力して、地域の特性に応じた健康づくりを推進する。 関係機関と連携して、生活習慣病、認知症予防に取り組む。 地域福祉のネットワークとして再構築された「地域支援システム」により、新たなニーズに対応する仕組や体制を充実させることで、地域福祉活動を専門的に支援する機能を強化する。 地域のニーズを早期に発見し、的確な支援につないで連携して問題解決を進めるとともに、必要に応じて新たな事業や施策を提案していく仕組を充実する。

具体的取組2－1－1	健康づくり
2決算額	334千円
3予算額	1,345千円
4算定見込額	1,349千円
当年度の取組内容	
地域健康講座時に、健診の必要性の啓発とがん予防の生活習慣病指導(禁煙指導を含む)の実施 食品・環境衛生事業者(理容所等)との連携や各種イベント開催時にがん検診・特定健康診査の受診勧奨の実施 「はつらつ脳活性化元気アップ教室」の開催及びリーダー育成 みんなの健康展(1回)、食育フェスタ(1回)の開催	
プロセス(過程)指標<取組によりめざす指標>	
①特定健康診査の受診率・区保健福祉センターで実施される大腸がん、肺がん、乳がん検診の充足率が前年度を上回る。 ②はつらつ脳活性化元気アップリーダーが参画する講座の開催：年250回以上 【撤退・再構築基準】 ①②いずれも目標を下回った場合	
当年度の取組実績	

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			
(令和3年度)			
各種健診事業等でがん検診の受診勧奨や生活習慣病指導等の取組を実施 元気アップリーダーに対しフォローアップ講座の開催			

アウトカム(成果)指標 ＜めざす状態を数値化した指標＞		前年度	今年度	個別 評価	全体 評価
健康に暮らせると思う区民： 令和7年度末までに50%以上					
声かけ、見守り、助け合い、支え合いを実感 している区民：令和7年度末までに54.8%以上					
戦略の進捗状況					
戦略のアウトカム 指標に対する有効性	課題				
	今後の対応方向				

具体的取組2－1－2	福祉相談ネットワークの強化
2決算額	49,979千円
3予算額	50,164千円
4算定見込額	50,653千円
当年度の取組内容	
地域福祉サポーターを配置した地域相談窓口による相談対応の実施 地域資源利用や開発のネットワーク化、担い手養成、発掘の促進 要援護者名簿の拡充や整備を行うとともに見守り支援ネットワーク(福祉専門職)による、訪問や地域の見守り活動等の実施 住居環境の健全化に向けた支援の実施	
プロセス(過程)指標<取組によりめざす指標>	
区内14地域の地域相談窓口の利用者満足度：50%以上	
【撤退・再構築基準】30%未満	
当年度の取組実績	

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			
(令和3年度)			
地域福祉サポーターの配置(14地域) 見守り支援ネットワーク(福祉専門職)の配置 住居環境の健全化にむけた支援員(ソーシャルワーカー)の配置			

めざす成果及び戦略 2－2 【安心して暮らせるまちづくりの推進】

めざす状態<概ね3～5年間を念頭に設定>
防災・防犯に様々な対策がとられ、区民の意識も高い状態
戦略<中期的な取組の方向性>
・ 様々な機会に啓発を行い、防災意識の向上を図る。 ・ 地域防災への女性や若年層の参画を促進し、地域の実情や意向を反映した防災訓練の支援等を行うことにより、自主防災組織の機能強化を図る。 ・ 区災害対策本部の役割を全職員に認識させる取組を進め、初期初動及び災害応急対策の中核を担う3号動員職員を重点的に養成することにより、区役所全体の防災力の強化を図る。 ・ 区民の防犯意識を高めるとともに、犯罪類型に応じた迅速で効果的な対策を警察署、地域と連携して継続的に取り組む。

具体的取組 2－2－1		防災力の強化	
2決算額	2,821千円	3予算額	3,216千円
4算定見込額	4,913千円		
当年度の取組内容			
・ 区民の防災意識を向上させる取組 広報紙等での情報発信、防災イベントの開催 ・ 自主防災組織の機能強化を図る取組 地域の自主的、自律的な防災訓練の支援、 地域防災リーダー防災学習の実施、女性の参画促進に向けた支援 ・ 区災害対策本部の機能強化を図る取組 実働的な内容を盛り込んだ訓練・研修による職員の意識向上			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>			
①災害に対して備えをしている区民：80%以上 ②有事の際の行動を理解している地域防災リーダー：70%以上 ③災害時の参集基準や区災害対策本部の役割を理解している職員：95%以上 【撤退・再構築基準】 ①50%未満②50%未満③85%未満			
当年度の取組実績			

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

(令和3年度)
・ 防災マップ等の広報紙での情報発信、小中学校における防災授業等の実施支援 ・ 防災イベント（新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止） ・ 地域防災訓練等の実施支援、地域防災リーダー研修の実施 ・ 職員研修や職員の参加する防災訓練の実施

アウトカム(成果)指標 <めざす状態を数値化した指標>		前年度	今年度	個別評価	全体評価
「自助」「共助」ともに理解している区民：令和7年度末までに70%以上					
犯罪のない安心できるまちであると思う区民：令和7年度末までに60%以上					
戦略の進捗状況					
戦略のアウトカム指標に対する有効性	課題				
	今後の対応方向				

具体的取組 2－2－2		防犯力の強化	
2決算額	1,308千円	3予算額	1,819千円
4算定見込額	1,775千円		
当年度の取組内容			
・ 犯罪類型に応じた警察署、地域と連携した防犯活動 ひったくり防止カバー取付キャンペーン(60回) シリンダー錠取付キャンペーン(20回)、こども安全講習の実施(85回) 街頭やコンビニ等での特殊詐欺防止啓発(年金支払日) ・ 青色防犯パトロールカー、自転車による巡回(随時) ・ 広報紙、ラビット通信、ホームページ、公式SNS等による情報発信(随時)			
プロセス(過程)指標 <取組によりめざす指標>			
区役所が警察署、地域と連携して実施する防犯に関する取組が、犯罪抑止に役立つと考える区民：80%以上			
【撤退・再構築基準】 50%未満			
当年度の取組実績			

プロセス(過程)指標の達成状況

目標の達成状況	取組の進捗状況	戦略に対する取組の有効性	課題と改善策
中間			
年度末			
前年度までの実績			

(令和3年度)
・ 犯罪類型に応じた警察署、地域と連携した防犯活動、ひったくり防止カバー取付キャンペーン(10月以降実施)、シリンダー錠取付キャンペーン(10月以降実施)、こども安全講習(7月以降実施) ・ 青色防犯パトロールカー、自転車による巡回(随時) ・ 広報紙、ラビット通信、ホームページ、公式SNS等による情報発信(随時)